



里地里山は皆の大切な宝です

日本の原風景の一つ

里地里山は国土の約4割を占めるといわれ、農地、ため池、樹林地、草原など、長い時間をかけて人々が自然と寄り添いながら創り上げてきた自然環境です。そこから特有の文化や豊かな感性が生まれ、今まで育まってきたました。また、食料や木材など自然資源の供給、良好な景観形成、水源かん養や国土保全、身近な自然とのふれあいの場等、重要な役割を果たしています。

さまざまな環境に沢山の生き物が住んでいます

里地里山は人間の伝統的な営みだけでなく、それに依存した生物が多く見られる場所であります。現在、宅地開発や水質汚染などの人間活動、伝統的な営みの放棄、外来種の侵入等が原因で、里地里山の生物多様性は近年急速に失われつつあります。最近の研究では、日本の絶滅危惧種のうち約半数がこの里地里山に集中していることが明らかになっています。

特有の生物の生息・生育環境として、自然資源の供給、良好な景観、文化の伝承の観点から、里地里山は重要な地域なのです。

環境省は、さまざまな命を育む豊かな里地里山を次世代に残していくべき自然環境の一つであると位置づけ、「生物多様性保全上重要な里地里山」として全国で五〇〇箇所を選定しました。(※) 目的は、里地里山を広く皆さんに知つてもらうためのものです。地域における農産物等のブランド化や観光資源などにも広く活用できます。

鳥取県では、十一箇所が選定されており、そのうち六箇所は日野郡にあります。

日野郡
江府町
日南町
船通山

その他
鳥取市
米子市、境港市
八頭郡若桜町
東伯郡三朝町
西伯郡南部町
南部町の里地里山

生物多様性がもたらす様々な恵みは、皆の大切な財産です。地域における暮らしや営み、保全活動等を通じて守られてきた里地里山を、これからも大切にしていきたいですね。

- (※)
 - 地域を取り巻く社会的・経済的条件により、里地里山の保全活用のあり方は変化する場合もありますが、今回の選定により地域の人々の暮らしや農林業の営み、土地の利活用等に対し新たな制約や規制等を生じさせるものではありません。また、各主体に、これまでと同様の方法で里地里山を管理し続けることを義務付けるものでもありません。
 - 指定地への土地の立ち入り等に当たっては、事前に承諾を得ることが必要な場合があります。

詳しい場所や内容については、環境省のホームページをご覧ください。

<http://www.env.go.jp/nature/satoyama/fyuuyousatoyama.html>

環境省ホームページ→自然環境・生物多様性→里地里山の保全活用→重要な里地里山トップ→生物多様性上重要な里地里山